

広報 たなべ

ともに歩こう。次の1000年へ。

10

2025

No.245



特集① 未来につなぐ

今年は、平成17年5月に田辺市・龍神村・中辺路町・大塔村・本宮町の5つの市町村が合併して20年となる節目の年です。

これからも、住みよい地域づくりと魅力ある地域資源の発掘・発信に、市民と行政が一緒に取り組んでいきます。

田辺市の更なる飛躍に向けたコンセプトが「ともに歩こう。次の1000年へ。」です。

特集② たなべ未来レター ～10年の時を超えて～

INDEX

田辺市20周年記念式典 / みうらかずま三浦一馬バンドネオン・コンサート / 20歳になったら親子で
「梅酒で乾杯！」 / じゅうにんというたなべ住人十彩「拓く。“まち”の魅力。」にしおか西岡 けいすけ圭介さん（稲成町） /
たなべすてき写真館

合併から20年～ 未来へつづく市の歩み

世界遺産熊野本宮館開館

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」や、熊野の観光拠点。

「道の世界遺産」として登録された熊野古道とサンティアゴ・デ・コンポステーラ巡礼道の両方の巡礼を達成した方は、**1万1,700名**を超えました。(8月末現在)



祝1万人目!!

新田辺市誕生

平成
17年

平成
21年

平成
25年

平成
27年

平成
28年

平成
30年

令和
2年

令和
6年

令和
7年

田辺市紀州梅酒による乾杯及び梅干しの普及に関する条例を制定

みなべ・田辺の梅システムが世界農業遺産に認定

とうけい ぼくきぎん なごぞか しおるとうげん
關鷄神社・北郡越・長尾坂・潮見峠越・赤木越が世界遺産追加登録

越境学習プログラム ことらぼ

都市圏企業社員とたなべ未来創造塾修了生がチームを組み、地域課題解決につながるビジネス創出に挑戦しています。



新庁舎移転



田辺市は、紀南の拠点都市として持続可能なまちを実現するため、人口減少や地域課題に対応しながら、20年間様々な施策に取り組んできました。

その中でも市の魅力発信や、人材育成、関係人口の創出などの取組みを振り返ります。

たなべ未来創造塾開始

地域の課題を「ピンチ」ではなく「チャンス」と捉え、地域課題解決や地域資源を活用したビジネスモデルの創出と、地域を支える人材を育成しています。令和6年度(第9期)までに**108名**が修了しました。



たなコトアカデミー開始

SDGs マガジン「ソトコト」と連携し、首都圏在住者で田辺に興味がある方、関わりたい方と地域プレーヤーが交流し、それぞれの田辺との関わり方を考え、実践しています。



熊野リボーンプロジェクト開始

人気登山アプリを運営する株式会社ヤママップと連携し、低山トラベラーなどの登山者を対象に、それぞれの熊野、田辺との関わり方を考え実践しています。



演劇で

田辺市の

明るい未来を

描きたい

地元には伝わる物語や偉人を題材に演劇で地域を元気にする劇団たなべ座は、田辺市合併20周年を機に、地域社会に根ざした新たな活動を始めました。座長の泉美也子さんは、地域の方々とともに明るい未来を描き出す演劇を制作したいと話します。

制作に当たり、地元の方を講師に招いて座談会を実施しており、今回は「大塔の巻」をのぞいてみました。

①講師のお話

餅つかぬ里

ごだいご 後醍醐天皇の皇子、大塔の宮（おおとうのみやもりよしんのう大塔宮護良親王）が鎌倉幕府の倒幕に失敗し、山伏に変装して熊野へ逃げました。その途中、空腹で農家を訪ねましたが、幕府から「山伏を助けるな」というおふれがあり、村人は誰も助けませんでした。

後にその山伏が大塔の宮だと知り、村人はお詫びの意味でその後600年もお正月に餅をつかず、お雑煮の餅の代わりに里芋（親芋）を使った「ぼうり」を食べるようになりました。



講師
みやこし たかひろ
宮越 貴博さん

大塔に伝わる「餅つかぬ里」の物語は、大塔の名前の由来や、この地域らしさが伝わると思い、紹介しました。

②ワークショップ

餅つかぬ里になぞらえ、参加者や劇団員は「自分の好きなものが食べられなくなったら」と自分事に置き換えて、さらに演劇にどう生かすかを考えました。



劇団員
いけだ のぞみ
池田 希実さん

若い視点と価値観を取り入れながら、地域の人を守ってくれている伝統を伝承していきたいです。役を演じることは、その人を生きることだと思っていて、今回はその当時の人の気持ちに触れることができました。



参加者
おおた たいら
太田 坦さん

もともとストーリーを作るのが好きなので参加しましたが、ワークショップでは大好きな和牛をターゲットにストーリーを考え、一人劇で発表しました。このテーマを通じて、身近な問題として自分自身で考えることができました。

一緒に田辺市の明るい未来を考えませんか

今回の演劇を企画した理由は二つあります。一つ目は、息子と10年後の話をした時に、人口減少や就職難など、悲観的なことばかりだったため、自由で明るい発想をもって田辺市を描いてみようと思ったからです。具体的な思いは現実につながると言われており、多くの人が明るい未来を描くことで、田辺市のより良い未来につながるよう願っています。

二つ目は、古きを知り、新しきを作り出すこと、過去を知ることには未来へのヒントが含まれているのではないかと考えたからです。私たちの演劇は「地説地演」をテーマにしており、市内の各地域の方に直接お話を聴く機会を作りました。

公演のタイトルは「あがらのまちのお宝探し」。合併20周年の節目に一度立ち止まって田辺市の明るい未来について、一緒に考えてみませんか。

●成果発表公演

日時 令和8年1月25日(土) 14時～

場所 紀南文化会館 小ホール

出演者・スタッフも募集中！



座長
いづみ みやこ
泉 美也子さん



たなべ

未来レター

～ 10年の時を超えて～



自分や大切な方へ宛てた手紙をお預かりして、10年後にお届けする「たなべ未来レター」。平成27年に、合併10周年記念事業として募集し、集まった未来レターは計763通。10年間大切にお預かりしたお手紙を、20周年を迎えた今年5月にお送りしました。未来レターを受け取った皆さんから感想や当時の思い出などを伺いました。

「思い描いた未来に」

市民総合センターに置いてあった「未来レター」の応募用紙が目にとまり、孫たちに書きました。手紙を受け取った孫と一緒に10年前を思い返せたこと、うれしかったです。

今、10年前に思い描いたように幸せな毎日

を過ごしています。孫たちは皆、自分のやりたいことを叶えたり、自分が進みたい道に向かって一生懸命勉強していたり……本当に嬉しい限りです。

私が住むこの地域は、とても居心地が良く、困った時は助けてくれる人がたくさんいます。この住みやすさが、この先もずっと続くことを願っています。

頼もしい若い方がたくさんいるので、これからのことは任せて、近所の仲間たちと一緒に楽しんで過ごしていきたいと思います。



くりかわ ひろこ
栗川 敬子さん

「過去も今も変わらない」

当時小学校3年生だった娘と一緒に未来レターを書きました。まさか返ってくるとは思っていませんでした。届いた時は驚きと感動で胸がいっぱいになりました。手紙には私自身のこと、夫のこと、娘や息子への思いがつつられていて、その当時はくだらない内容でも、手紙にすると不思議と懐かしく感じました。

今の暮らしはキッチンから山の風景が見える穏

やかな場所です。田辺市は人も多すぎず、病院やスーパーもあって住みやすいと思います。この手紙を通じて、変わらない自分と成長した家族を実感できました。

また機会があれば、子ども達と取り留めのない手紙を書くかもしれないです（笑）。



おおた いずみさん
太田 いずみさん

「10年間で成長を感じた」

高校3年生の時、授業の一環で書いた「未来レター」。正直、手紙を書いた記憶はありませんでしたが、10年ぶりに自分宛の手紙が届いた瞬間、高校時代の思い出が一気によみがえりました。



もりき ゆきこ
森木 佑貴子さん

少林寺拳法部に入って

いた私は、運動が苦手ながらも毎日の練習に必死だったことが手紙にもつづられていて、あの頃は確かにそうだったなと（笑）。手紙はルーズリーフに書かれていて、それもまた高校生らしくて懐かしく感じました。

昔の私は、周りを気にして思い悩むことが多かったのですが、今は、前向きに考えられるようになったことで、少し成長したのかなとも思います。

この未来レターがあって本当に良かったです。田辺市を離れましたが、住みやすく、美しい海のある田辺へまた戻ってきたいと思います。

「10年後も変わらぬ関係」

親友を誘って、未来レターを出し合いました。彼女は、今でも毎日連絡を取り合う大親友です。その彼女が10年前に書いてくれたものだと思うと、とても感動して、泣けてきました。

塚さんの大親友である

たなか みか
田中 美香さんにも伺いました

手紙を読んだときは、少し恥ずかしい気持ちもありましたが、うるっと泣けてきました。塚さんといると、居心地がよく、自分らしくいることができます。また、お手紙を書く機会があれば、今度も塚さんに向けて書きたいと思います。

彼女とは、何でも話せる間柄で、私が悩んでいる時にはいつでも助けてくれます。そんな彼女と、10年後の現在も変わらぬ関係を築けていることにとても感謝しています。

生まれも育ちも本宮で、季節の移り変わりを感じることができるこの土地が大好きです。カエルやセミの声を、年齢を重ねるとともに心地よく感じるようになりました。

未来レター、素晴らしい企画でした。また、彼女と10年後のお互いに向けて手紙を書いてみたいのです。



つか まどか
塚 円さん

宛名不明で届かなかった未来レターは、令和8年4月30日まで、たなべ営業室で保管しています。

届いていない場合は、下記までお問い合わせください。期日までにお申し出がない未来レターは、処分しますので、ご了承ください。

☎ たなべ営業室 価値創造係
☎ 0739 (33) 7714

